

歯科材料 3 義歯床材料
管理医療機器 義歯床用長期弾性裏装材 「JMDN」 34770000
(管理医療機器 義歯床用接着材料 「JMDN」 70834000)

モロジルプラス 2

【禁忌・禁止】

本材により発疹、皮膚炎の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

〔構成〕

- (1) カートリッジ 50mL
(付加重合型シリコーン タイプ I)
ジメチルポリシロキサン、二酸化ケイ素、他
- (2) プライマー 5mL
義歯床の接着面に本品を盛り付ける前に塗布する。
成分：酢酸エチル、他
- (3) ミキシングチップ
カートリッジの先端キャップを取り外して、ミキシングチップを取り付ける。
成分：ポリプロピレン
- (4) 形態修正ポイント
本品を接着後、トリミングのために使用する。

〔原理〕

ベース及びキャタリストを規定された割合で練和することとで化学重合によりゴム状に硬化し、不適合となった義歯床の裏装などに用いることが出来ます。

【使用目的又は効果】

本品は、歯牙の全て又は一部脱落した患者の不適合となった義歯床の裏装に用い、長期間使用するものである。

【使用方法等】

＜直接ライニングの方法＞

- ①旧義歯のリライニング材を完全に除去し、義歯床粘膜面を約 1～2mm 研削する。前庭の舌側から辺縁に高さ 2～3mm、深さ 1mm 以上のショルダーを形成する。デンチャーは完全に油分を除去する。
- ②プライマーを塗布し、約 1 分乾燥させる。
- ③ミキシングガンにカートリッジをセットし、ミキシングチップを取り付け、義歯接着面にモロジルプラスを均一に盛り付ける。
- ④患者の口腔内で、口腔を通常どおり閉じさせ機能印象を行う。約 5 分間でセッティング終了。
- ⑤口腔内から撤去し、はさみや外科用メス等を用いてトリミングし、形態修正ポイントで表面が滑らかになるように仕上げる。

＜デンタルラボにおける間接法＞

- ①旧義歯に印象材を盛り、口腔内にて機能印象を採得する。印象採得終了後、余剰分のトリミング形態修正を行い、フラスコに埋没する。石膏硬化後、義歯床部から印象材を除去する。以後、直接リライニング法の①～③を行う。
- ②モロジルプラスを盛り上げた義歯床部を粘膜部に合わせプレスし、ウォーターバスを用い約 10 分間、40～45℃に加熱後、加圧重合器で約 30 分間軽い圧力を加える。フラスコから義歯を掘り出し、最終トリミングと研磨を行う。

【使用上の注意】

〔使用注意〕

- ①他の製品と混用しないこと。
- ②1 日 1 回の割合で義歯洗浄液又は軟らかい歯ブラシで義歯を清掃するよう患者を指導すること。
- ③義歯洗浄液に 10～15 分間以上は浸さないよう患者を指導すること。
- ④本品の硬化物を研磨する際には粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないよう注意すること。
- ⑤本材を使用する際には、適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
- ⑥廃棄する場合は、地域の規制に従い廃棄すること。

〔重要な基本的注意〕

- ①本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ②本材に対し発疹、皮膚炎の過敏症の既往歴のある術者は手袋を着用し、素手で直接本材に触れないこと。又、本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた場合は使用を中止し、医師の診断を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ①直射日光を避け、15～25℃の冷暗所で保管すること。
- ②水のかからない場所に保管すること。
- ③気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオン分を含んだ空気などにより悪影響が生ずるおそれがない場所に保管すること。

[有効期間]

本材は包装に記載の※有効期間までに使用すること。

[記載の有効期間は、自己承認（輸入先製造業者データ）
による。]

※（例 ☞ 2025-01 は有効期間 2025 年 1 月を示す。）

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】**

製造販売業者：株式会社 茂久田商会

連 絡 先：<https://www.mokuda.co.jp>

製 造 業 者：デタックス社／ドイツ

Detax GmbH & Co. KG /Germany